

人間国宝 山本東次郎先生門下(山本会)の皆様による

大藏流狂言「柿山伏」レポート

11月25日(金)に狭山台小学校の体育館で公演され、6年生80余名と一般20名余の観客が熱心に狂言を鑑賞しました。

舞台は簡素で、客席から見て舞台の右側に1つだけ柿の木に見立てた黒い筒が置いてあるだけだった。まずお腹のすいた羽黒山の山伏が登場。柿の木に登り実を取ろうとした。そこに地主が登場。山伏はとっさにカラスになってみたり、猿になってみたりと努力するが、ついには鳥になろうとして飛び真似をして落ちてしまう。最後は地主に介抱される羽目になってしまうという演目を披露した▼次に子ども数人が舞台へ上がりお辞儀の仕方、すり足での歩き方、走り方、笑い方を体験してみた。舞台上がったこどもたちは熱心に稽古し、楽しそうであった。会場にいるみなさんも声の出し方をおさらいし狂言を味わった▼その後狂言についても、「なんで狂言というのですか」「柿山伏は何年前にできたのですか」「狂言は何年くらいやるとできるようになるのですか」「どうやってそんな声が出せるのですか」「どうして『家』とかあるのですか」といった熱心な質問がたくさん出された。

牧野記者



口上を述べる山伏



狂言の「すり足」をやっています♪

子どもたちの感想◎

- 昔の文化がよくわかった。楽しかった!
- これで2回目だけでもっと見たいです。
- 言葉は良くわからなかったけど動きなどが見れてよかった。
- 体験もでき、動きの難しさもわかりました。

~大人の感想~

- 話の内容もわかりやすかったので狂言というものがわかった。
- 昔のものを受けついでいく良さがありがたい。馴染みやすかったし楽しめた。日本の文化が良いものであることがわかった。是非大切にしていきたい。子どもに知らせることは良いことです。
- 数年前から徐々に狭山に浸透しつつある狂言が、このように子どもたちに馴染んでいってくれることは、頼もしい限りである。



こどもも大人も熱心に鑑賞

今さら・・・でも詳しく聞きたい!!



スマホって何?



スマホ(スマートフォン)ってどういうもの?

基本の基本を、市民講師協議会の講師に『一』から解説していただきます。昨年、人気があり定員いっぱいになった講座です!!

[日時] 2月3日(金) 14:00~16:00

[場所] 狭山元気プラザ内
地区センター別室 まちづくり活動室

[内容] スマホとは?通信の仕組みなど

[定員] 25名(先着順) [費用] 無料

[講師] 狭山市民講師協議会

[申込み] 1月16日(月)から狭山台公民館へ

Tel:04-2957-1271

★狭山台公民館は現在工事中のため、事務室は
狭山元気プラザ内地区センター別室会議室
に移転しております。

子どもから大人まで! 知って安心

すこやかスクール@狭山台

今月のテーマ

「老人保健施設ってなあーに?」

施設で実際に働く方から直接お話を聞ける機会です。なんとなく?がしっかり理解できるかもしれません。是非、ご参加ください!

[日時] 1月19日(木) 14:00~16:00

[場所] 狭山元気プラザ内
地区センター別室 まちづくり活動室

[講師] 狭山ケアセンター 池野師長
雪見野ケアセンター 横山課長

[定員] 80名(先着順)

[費用] 無料

[申込み] 富士見・狭山台地域包括支援センターへ
Tel: 04-2969-0080 Fax:04-2969-0081


